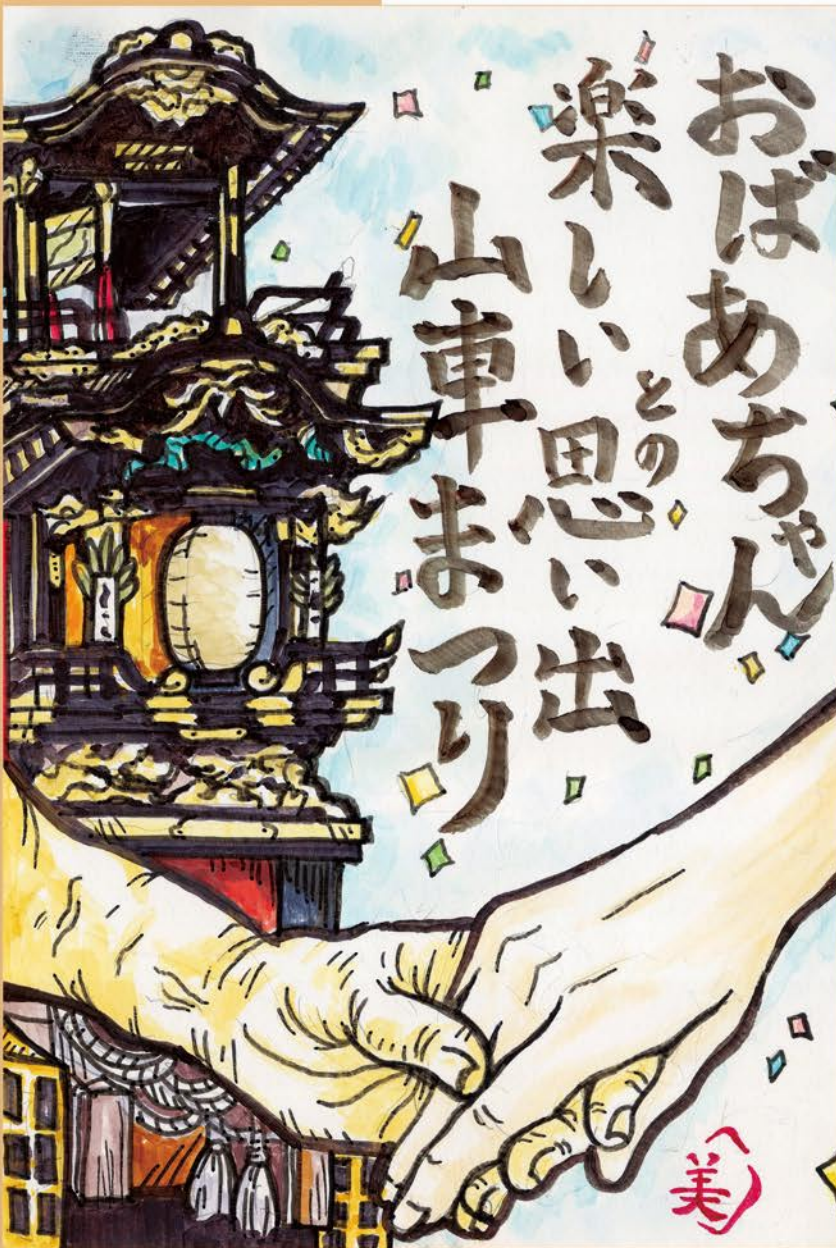


ひまわり



第20回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 細川 美恵 様

- 2 敬老特集 ● 長寿番付2024
- 3 第32回職員合同研修会
- 4 ▶ 5 第12回利用者満足度調査の結果について
- 6 ▶ 7 各施設夏祭り開催
- 8 連載vol.68 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 9 ▶ 12 各施設トピックス
- 13 福寿園ニュース
- 14 たぶトピ 家族会だより
- 15 連載
 - 外国人介護士 紹介インタビュー
 - 施設長・管理者のリレーコラム
 - 4コマまんが フクちゃん
- 16 はぐくむ会社会還元事業ご案内 秋のフェスタご案内

177号

令和6年9月10日

祝敬老 おめでとうございます

今年の9月16日(月祝)は敬老の日です。多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、若年者が高齢者の福祉に関心を深める機会になるようにとの願いも込められています。お健やかに敬老の日を迎えられますことに、心からお慶び申し上げます。

祝敬老

福寿園長寿番付(二〇二四)

令和六年秋場所
行司古田周作

年齢はすべて令和六年八月末日現在です。(敬称略)

東

横綱	重田中	しゃう	一〇二歳
横綱	養彦	桑原ハツ	一〇二歳
大関	東進	笠ホ	一〇二歳
関脇	ハシムツ	山田	一〇二歳
小結	ゆき子	長尾	一〇二歳
小結	ゆき子	間瀬	一〇二歳
前頭	ハシムツ	服部	一〇二歳
二東	進	森	一〇二歳
三東	原	加藤	一〇二歳
四重	田	江口	一〇二歳

五重	美	小久保千里	一〇二歳
六重	美	荒木	一〇二歳
七重	ハシムツ	羽根トキ	一〇二歳
八重	原	關目	一〇二歳
九重	花の里	大谷美八	一〇二歳
十重	ハシムツ	旭形ユキ	一〇二歳
十一	花の里	木村	一〇二歳
十二	ハシムツ	中野	一〇二歳
十三	田原	山下多美	一〇二歳
十四	ハシムツ	水野	一〇二歳
十五	原	原田しず	一〇二歳
十六	武	豊森田とし	一〇二歳

十西	ハシムツ	吉田	九八歳
二重	田	服部	九八歳
三	みな	中村	九八歳
四	花の里	山本志	九八歳
五	田原	林	九八歳
六	田	原市川	九八歳
七	田	原	九八歳
八	みな	山岡	九八歳
九	重	田	九八歳
十	ア武	小	九八歳
十一	ハシムツ	寺澤	九八歳
十二	ハシムツ	藤城	九八歳

西

横綱	花の里	大島	ヤス	一〇二歳
大関	花の里	伊藤	哲也	一〇二歳
関脇	田	原大場	かつ	一〇二歳
関脇	みな	伊藤	美鶴	一〇二歳
小結	ゆき子	阿部	よね	一〇二歳
小結	ゆき子	中嶋	はな	一〇二歳
前頭	ハシムツ	山本	千代	一〇二歳
二	田	原	仲谷	一〇二歳
三	重	美原	よね	一〇二歳
四	ハシムツ	佐藤	いと	一〇二歳

五	田	原	八木	てる	一〇二歳
六	重	美	杉浦	朝	一〇二歳
七	ハシムツ	日高	ユキ	一〇二歳	
八	東	進	近藤	志	一〇二歳
九	ハシムツ	増田	ヨシ	一〇二歳	
十	田	原	寺田	あつ	一〇二歳
十一	ハシムツ	高瀬	三郎	一〇二歳	
十二	ハシムツ	杉浦	ゆり	一〇二歳	
十三	ハシムツ	杉山	秋枝	一〇二歳	
十四	田	原	伊藤	ソ	一〇二歳
十五	田原	重	松嶋	一	一〇二歳
十六	武	豊	竹内	キ	一〇二歳

十西	ハシムツ	原	密藤	博	九八歳
二	みな	大岡	幼	九八歳	
三	ハシムツ	田中	鏡	九八歳	
四	ハシムツ	竹内	久江	九八歳	
五	田	原	小川	う	九八歳
六	田	原	鈴木	千	九八歳
七	みな	西山	し	九八歳	
八	ハシムツ	竹尾	淳	九八歳	
九	花の里	中嶋	敬	九八歳	
十	ハシムツ	青木	久代	九八歳	
十一	田	原	鈴木	阿	九八歳
十二	ハシムツ	竹田	かず	九八歳	

職員合同研修会開催



パネルディスカッションの様子

7月16日、第32回職員合同研修会がロワジュールホテル豊橋で開催されました。今年は5年ぶりに完全対面での開催となり、各施設から合計270名の職員が一堂に会しました。冒頭の式典では、職員の永年勤続者の表彰が行われ、法人の創成期からともに歩んだ40年勤続者を含む124名に感謝状が贈呈されました。午前中には、理事長より「D&I経営をめざして」をテーマに基調報告が行われました。日本の生産年齢人口が減少する中、限られた人的資源の中で生産性を高め、多様性と一体感を持って働きがいのある職場を作っていくことの大切さが語られました。

午後からは、第12回利用者満足度調査の結果を元にしたパネルディスカッションが行われました。現場の第一線で活躍する職員の代表が真剣に議論する姿に感銘しつつ、参加者は自施設の結果と照らし合わせながら、真剣に耳を傾けていました。また、今回は外部講師を2名お招きしました。

最初に、SOMPOヘルスサポート(株)シニアゼネラルコンサルタントの桜又彩子氏による「健康経営とは何か」法人とそこで働く職員にとってのメリットと「のメリット」をテーマにご講演いただきました。桜又氏は、福寿園の健康経営宣言や方針を踏まえ、健康経営を分かりやすく説明され、自分の生活習慣を見直し、健康でいきいき働くためのポイントをお話してくださいました。

続いては、フジテレビの「ホンマでっか!?TV」にも出演されている心理学者の植木理恵氏より「楽しくいきいき働き続けるためのメンタルヘルス」をテーマとして講演いただきました。植木氏の気さくな人柄と、とても親近感のあるお話しぶり参加者も惹きつけられ、とても楽しく聞かせていただきました。参加者からも「心の負担や焦りが減り、気が楽になった」といった声も聞かれました。

研修会終了後は合同懇親会も開催され、コロナ禍で希薄になっていた職員同士のコミュニケーションや交流を深める機会となり、法人全体の連帯感を再確認する機会となりました。



講演する桜又彩子氏



講演する植木理恵氏



永年勤続表彰



利用者満足度 調査の結果について

ご協力ありがとうございました



平成14年に始めたこのアンケートも今年で12回目となりました。今回も特定非営利活動法人しんしろドリーム荘(愛知県新城市)に委託して令和6年1月30日から3月31日まで郵送調査と訪問聞き取り調査を行いました。コロナ禍でしたが、5,788名に郵送もしくは聞き取り調査を行い、3,891名の方から回答をいただきました。有効回答率は67.2%ですが、コロナ禍の影響が残る中でしたので、認知症のご利用者も含め、できる限りご利用者ご本人に答えていただきました。

660人の聞き取り調査

しんしろドリーム荘の山本拓哉代表理事には令和6年2月〜3月、コロナの余波が残る中、感染者が出る度に日程変更にご協力いただき、何とかスケジュール通りに660人の聞き取り調査をしていただきました。養護やケアハウスのご利用者の中には2年に一度の聞き取り調査を楽しみにしている方も見えます。法人に付随することなく、しっかりと利用者寄り添って心の奥の本音を引き出してください、私どもにとって耳の痛い意見も文章化して考察を加えていただいています。

安全と自立を支える手すり

全体を通じては、全事業種・全項

目について、概ね満足という評価をいただけていますが、実に様々な改善要望も寄せられました。

ハード面に対する要望は養護やケアハウスでは、廊下や大浴場、個室の浴室に「手すりをつけてほしい」、またデイサービスでは「横になりたい」、「トイレを増やしてほしい」という要望が寄せられ、入居者やご利用者の高齢化、各サービスの定員の増加に伴うハードの整備が追いついていない現状が浮き彫りになりました。それに加え、ケアハウスにおいては「自立できなければ出ていかなければならない、いつまで置いてもらえるか」という不安感も寄せられ、手すりをつけて欲しくても「体力低下を理由に退所させられはしまいか」と言い出せなかったのかもしれない。

特養の変わりぬーズ

特養においては、「朝昼晩お粥では食べられない」、「普通の魚が食べたい」という刻み食やわらか食を食べている利用者からの要望、「夜はオムツにするのが嫌」、「トイレで待つのが長い」と排泄ケアに関する要望のほか、リハビリや入浴に関する要望、室温調整に関する要望など実に様々な要望が寄せられました。

前回要望の多かったリハビリですが、今回は機能訓練指導員と介護職が協力して体操やリハビリに取り組

んでいる成果もあり、満足度が増加しています。

特養・ケアハウス共通二一ス

特養、ケアハウス、養護の共通項目として食事に関する要望が多く寄せられました。福寿園としては季節の食材を使用し行事食にも力を入れています。食事の満足度には施設間格差があり、施設の課題として取り組む必要がある施設もあります。また入所施設の共通のもう一つの課題として、「孤独感」が挙げられます。中には「誰とも喋ったことがない」、「一人で居ると寂しい」という声や「楽しみは？」の設問に「ない」、

「ただ耐えるだけ」、「ぼさっとしている」と言う声もありました。

満足度の高いグループホーム

グループホームはどの施設も満足度が高く、「楽しみは？」の設問に「嫌なことがないから楽しみ」、「みんなで元気でお喋りをする事」、「そこらじゅうを歩くこと」とあり、「改善してほしいことは？」の問にも「嫌な時はすぐに言うようにしているの十分」、「何でも言うから問題ない」とあり、利用者と職員の関係の良さがうかがえる意見が沢山寄せられました。

自立支援と楽しみづくり

ショートステイは、送迎時間に関する要望のほか、リハビリについての要望が寄せられました。ケガをさせてはいけないという思いが利用者に対する過剰なケアに繋がり、生活リハビリができず、体力や機能の低下を心配する声のほか、「楽しみがなく、つまらない」という声もあり、リハビリの充実や楽しみづくりが課題です。

利用者目線でのケアの検証

デイサービスは、食事やお風呂、おしゃべりや様々なレクリエーション活動を楽しみにしている方が多い一方、「一日ぼつと腰かけている」体

力に応じたサービスを」という要望もありました。何かしら楽しんでくれる人が多いとは言え、利用者の中には食事や入浴以外の時間を有意義に過ごせていない方もいるということでしょう。意思表示がない人も何も感じていない訳ではないことを肝に銘じ、職員は利用者の言葉にできない二一スを探りながら有意義な時間を過ごしてもらえよう、利用者一人ひとりの目線で日々のケアを検証する必要があります。

ヘルパー利用者の楽しみ

ヘルパーは掃除や食事作りが本来の利用目的ですが、何と云ってもヘルパーとのコミュニケーションを楽しみにしてくださっている利用者の声が多く寄せられました。改善してほしいことについては、「手抜きが多くなった」、「雑な仕事」をする職員に対して教育、サービスの標準化を求める声がありました。

満足度を高めるはじめの一步

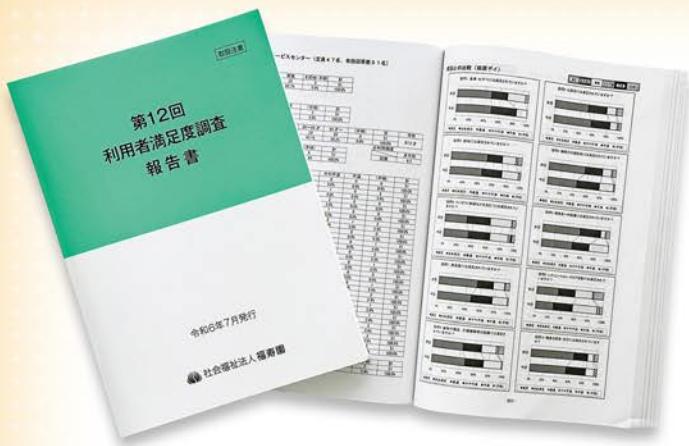
ケアプランセンターや地域包括支援センターは、努力の甲斐あって、それぞれのサービスの役割が認識されてきたようです。迅速な対応に感謝の言葉をいただきました。

全事業所の自由記述に目を通し、感じたことはコミュニケーションの大切さです。コミュニケーションが

良好な事業所は気軽に要望を伝えることができ、その都度不満が解消されますが、そうでないと「言いにくい」、「我慢している」状況に陥ります。グループホームのご利用者は認知機能の低下があり、ストレスが多いはずですが、職員に全幅の信頼を寄せ、安心して暮らしている様子が見てとれます。またヘルパーやケアプランセンターにおいても、担当者との関係が良好であることが満足度に繋がっています。まずは気軽に文句を言うてもらえる関係づくりが満足度を高めるはじめの一步だと感じました。またサービスの標準化のためには職員教育のあり方も検討の余地があります。演習など実践的な研修で自己覚知をしながらスキルを身につけるほか、利用者目線でのケアの見直しを図ります。

最後に

最後になりますが、第12回利用者満足度調査報告書に貴重な意見をお寄せくださいましたご利用者・ご家族の皆様にお礼申し上げます。当該報告書は各施設に配布してありますのでご自由に閲覧していただき、ご意見、ご要望につきましてはその都度、施設長、管理者、相談員等へお知らせいただけると嬉しく思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。





開催

各施設で夏祭りを開催しました。やぐらを囲んでの盆踊りに屋台やゲームコーナーが立ち並び、お年寄りからお子さんまで、職員手作りの夏祭りを楽しめました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

8/11

武豊福寿園・ケアハウス武豊

納涼大会



8/1

養護盲福寿園・田原福寿園

納涼祭



8/23

ひまわり邸

夜邸会

8/3

花の里

花宵まつり



8/4

くすのきの里

くすのきまつり



7/20

昭和の里

昭和の里祇園祭



7/27

渥美福寿園
夏祭り

福江中学校 吹奏楽部

夏祭り



8/2

ひまわりの街
夏まつり



8/9

みなみ福寿園・ケアハウスみなみ
盆踊り大会

8/17

ケアハウスきぬうら
きぬうら夏祭り



8/10

豊田福寿園
夏祭り



※7/28に予定していた東海福寿園の夏祭りは
コロナの感染状況によりやむなく中止いた
しました。

連載 68

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。

私は昭和10年11月10日、5人兄妹の3番目として名古屋市に生まれました。幼少期の記憶で強く残っているのはやはり「名古屋空襲」です。今でも鮮明に怖さや苦勞を覚えています。

中学校卒業後、名古屋交通局市バスの車掌として10年間働き、結婚後は定年まで別の会社で働きました。当時の定年は55歳でしたので、年金の手続きに行った際にまだ若いからとヘルパー学校に通うことを勧められました。

ヘルパー学校を卒業後、介護老人保健施設（以下、老健）で働きました。そこで、マジックと出会ったのです。初めは簡単なマジックを入所者の方の前で披露したのが始まりです。入所者の方がとても喜んでくれたのが、とても嬉しく思いました。もっともっと喜んでほしいと思いい、地域にマジックの先生を呼び、毎日コツコツと練習をしました。働いていた老健以外にも



ハトマジックを披露するようす

デイサービスなど様々なところに披露をしに行きました。練習が実を結び、難易度の高いリングを使ったマジックや最終的には「ハト」を5羽程飼いい、ハトを使用したマジックまでできるようになりました。その内1羽はまだ生きており、世話をしながら昔を思い出しています。マジックは引退しましたが、「人



シルクマジックを披露するようす

に喜んでほしい」という性分から、折り紙や小物づくりに励み、作った作品をプレゼントしています。折り紙は10年程続けていますが、まだまだ上達できるように励んでいます。また、老健の経験を活かし、夫を10年間自宅で看病しました。看病だけでは自分が参ってしまうと思いついても始めたのもその頃です。踊りは



古田 友子さん
(木田の里デイサービス)

プロフィール

生年月日：昭和10年11月10日
出身：名古屋市
趣味：小物づくり・折り紙

日本舞踊や吟剣詩舞ぎんけんしぶなどを行って来ました。5年に1度発表会があり、御園座で行うこともありました。御園座で披露できたことは私にとって一生の思い出です。

マジックと出会ったこと、人に喜んでもらえる嬉しさを知ったこと、夫を自宅で看病できたことを思うと、ヘルパー学校に通ったことは今思えば、私にとって転機だったのかもしれない。

私の人生「感謝」の一言に尽きません。これからも、「感謝感謝」と思いついながら、人に喜んでほしい、自身も喜び、楽しい人生を送ってきたいと思っています。



御園座発表会にて

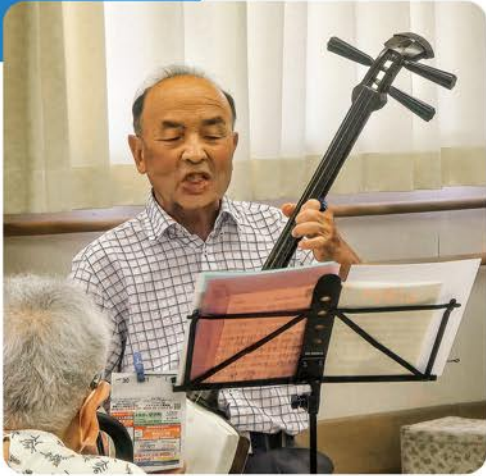
豊田福寿園 相撲甚句(すもっじんく)

大相撲名古屋場所中の7月26日、豊田中日相撲甚句会の方が来園され、相撲甚句を披露してくださいました。相撲甚句は7、7、7、7、5の形式で歌われる囃子歌で、巡業中の余興として披露されるそうです。普段なかなか耳にしない相撲甚句ですが、豊田市出身の力士、隆勝生の甚句や、振り込み詐欺防止の甚句など8曲披露してくださいました。歌の間には、利用者の皆さんも「あ〜、どすこい〜、どすこい〜」と掛け声と手拍子で参加し、大いに盛り上がりました。



デイサービスきぬつら 三味線ボランティア

地域に住む方との交流の一環として、三味線を趣味で取り



組んでいる石川明己さんをお迎えし、演奏を行いました。とても83歳には見えないばちさばきで、三味線の弦の音がビーンと響

くたびに利用者の視線が石川さんに集中し、一緒に歌う利用者もみえて、大変にぎわいました。

今後このつながりを大切に、石川さんにとっても利用者にとっても楽しい時間を増やしていきたいです。

赤羽根デイサービス カラフル！糸かけアート！

ものづくりレクリエーションの企画として「糸かけアート」を行いました。丸い画用紙に糸を掛け、点から点に繋げ、好みの色を使って世界に一つだけのオリジナル作品を完成させます。見本を見た時は「細かい、難しそう」との声もありました



が、いざ手に取ると、途中からは糸を掛ける順番もご利用者が発声し、それを聞いて皆が手を動かす、真剣な取り組みとなりました。完成した作品に「結構簡単にできた!」、「綺麗な模様になった」と、満面の笑顔、感動している様子は印象的でした。最後はそれぞれの作品を見せ合い、「私はこの色にしたよ」などの会話で大盛り上がり。裁縫をやっていたころの思い出話にも花が咲き、充実したあっとい間の一瞬となりました。

武豊福寿園 猛暑・残暑をしそジュースで乗り切ろう!

毎年夏恒例行事となっている赤じそジュース作りを行いました。入居者に赤じその葉と枝を分けてもらい、葉の部分の沸騰したお湯の中で30〜40分煮だして葉を取り出せば綺麗な赤色に変身。砂糖とりんご酢を入れたらできあがり。食欲を高める「ペリラルデヒド」、エネルギーの代わりを促す「ビタミンB群」等をいっぱい含んだジュースで、今年の暑さも乗り切ります。



東海福寿園

大池公園花火大会

8月10日、東海市民に長く愛され続けている大池公園花火大会が開催



されました。東海福寿園からも見え、絶景スポットになっています。コロナ禍では中止を余儀なくされて寂しくもありましたが昨年からの復活を、今年も利用者と一緒に見ることができました。開始を今か今かと待ち、はじめの花火があがった時には大歓声があがりました。4000発の花火が夜空を彩り、思わずうっとり。花火を見ながら「綺麗だね」「夏だね」と笑顔で溢れています。「また来年も一緒に見ようね」と利用者同士でお話されて、素敵な夏の思い出のひとつとなりました。

ひまわり邸

西山自治区協議体会議

7月25日、西山自治区の区長・民生委員・福祉事業所の職員さんが集まり、防災に関する勉強会と災害時の連携方法について話し合いが行われました。能登半島地震をきっかけに、地域の声から会議が始まり、参加者からは地域住



民の備蓄や自助の取り組みを推進する一方、障がい者施設や高齢者施設が地域により知られること、また防災訓練の共同開催の提案もありました。会議を重ねるごとに地域との共助意識がさらに高まり、地域一体となっていけるようにしていきます。

田原ゆの里デイサービス

フレームアレンジメント

写真立ては、写真を飾るだけではなく、お花も飾れるんです！フレームの中にオアシスを入れて造花を生けたら出来上がり。皆さんお花が大好きな方ばかりなので、メインのお花を悩みながら一つ選んでいました。「お花を二つにしてもいい？」「あなたのアレンジとってもステキ！」など学生の頃に帰ったように楽しく素敵な時間を過ごされていました。個性



のある素敵な作品ばかりです。仕上がったアレンジメントはデイホールに飾り、参加できなかった方にも楽しんでいただきました。

放課後等デイサービスだっこ

Let's try! ECO.

私たちの生活に欠かすことのできない水とガス。水がどこから来ているのか、日常でどれだけのガスを使って生活しているのかを子どもたちに知ってもらうために、夏休みに社会見学として、知多市の『水の生活館』と東海市の『ガスエネルギー館』へ行きました。水の生活館で



は、水はどこから来てるのかわれているのかなど、水の動きに触れながら楽しみ、ガスエネルギー館では、日常生活で使われるエネルギーをわかりやすく説明してくれる体験コーナーや展示物に触れて、節電やエコについての大切さを学びました。子ども達と共に今後の生活に活かしていきたいと思えます。

みなみ福寿園デイサービス ハンドマッサージ体験



7月30日、ハンドマッサージのボランティアとしてメナードさんが来園されました。お誘いしたご利用者は「こんな手を見せるのはちょっと…」と話されていたが、実際にマッサージを受けると、とても気持ちよさそうな表情へ変わっていきま

した。マッサージを受けた後は職員に手を見せながら「こんなにしっとりして、気持ちよかった！あんたもやっといで！」と嬉しそうな笑顔を見せてくださいました。いつまでも若々しく、素敵なお手を見せてくださいな。

くすのきの里デイサービス 居酒屋「くすくす」開店！

7月30日、第2回居酒屋「くすくす」開店しました。今年も例年どおり猛暑の中の開催でした。ビール、ノンアルコール、ジュース等で乾杯し、居酒屋風のメニューの提供で箸が進みました。職員のお酌で会話も弾み、楽しい行事となりました。午後からはカラオ



ケ大会を行い、チームで点数を競いました。チャンピオンは去年と同じ方だったため、皆さん来年に向けて練習をすると意気込んでいました。皆さんに楽しいと思っていただけるデイサービスを目指していきたいと思

昭和の里デイサービス 待望のトイレ増設！



デイサービスの利用者には、長い間トイレの数が十分に足りず、時にはトイレの前が渋滞になることがあり、ご不便をおかけしましたが、この度念願のトイレ増設工事を行うことができました。ピカピカの最新トイレができあがり、管理者と副センター長でテープカットを行い、お祝いしました。

利用性もあがり、自動水洗や流水音の設備に、利用者からも「なんかいいね。気分もいい」と喜びの声が届いています。

養護盲福寿園 目標に向かって

まだまだ暑い日が続きますが、秋と言えば食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋：いろいろな楽しみが増える季節です。中でも読書をするのがとても好きで、読むこと、書くことを楽しんでる入所者もいます。視力が低下し、小



い文字を読むことは難しいですが、拡大図書器を使用し、様々な本や広報誌などを読まれています。また、自身で執筆した本を完成させることが目標で、拡大図書器を使用しながら日頃の思いを用紙にしたためています。諦めかけていた読書書きを継続することができて嬉しいといつも笑顔でお話してくれます。

花の里
皆でかき氷！

7月22日にお楽しみクラブが行われ、皆でかき氷を食べました。かき氷の機械を台車に乗せ、各ユニットを回り、職員が入居者の目の前でかき氷を作り、涼を感じていただきました。シャリシャリと氷を削る音を聞きながら目の前でかき氷ができあがる様子を、懐かしくも夢中で見入って

いました。たくさんシロップから好きな味を選び、みんなと一緒に食べるかき氷は格別でした。



ひまわりの街デイサービス
ミニ夏！まつり



8月12日に「ミニ夏！まつり」を開催しました。昔懐かしいヨーヨー釣りや射的などのゲームを用意し、皆さん童心にかえったように楽しまれていました。おやつタイムには、お祭り定番のかき氷！思い思いにお好みのシロップやあんこ、フルーツなどをかけ、オリジナルかき氷を作っている方もみえました。楽しかったよと反響もいただき、ひと夏の良い思い出になりました。

ちた福寿園デイサービス
ダンシング盆踊り

夏といえば盆踊り。8月12日〜17日まで盆踊り大会を行いました。今年は浴衣の寄付を募り、職員や利用者の方から自宅で眠っている素敵な浴衣を寄付していただきました。「浴衣なんて久しぶりだわ」と言われながら、たくさんある浴衣の中から自分好みの物を選ばれていました。手作りの提灯とやぐらを中心に、はじめは遠慮していた方も曲が流れ始めると自然に体が動いていました。周りの方からも「浴衣姿が綺麗だねー」と歓声と拍手が上がっていました。



田原福寿園
真夏の夕のきらめき



ひぐらしの声に誘われて、昼間の暑さも和らぎ始める夕刻に、入居者さんと園内のひまわり畑を散歩しました。夏の風物詩で福寿園の園花でもある「ひまわり」が、今年も太陽を追いかけるように真っ直ぐに、いきいきと茎を伸ばし、生命力溢れる鮮やかな大輪を咲かせました。ロマンティックな夏の茜空と、鮮やかな黄色の色彩に思わず記念撮影。心奪われる見事な景色に、皆さんも笑顔の花を咲かせていました。

渥美福寿園
へいっ！お待ち！

「へいっ！お待ち！」と大きな声で、寿司職人に変身した職員が、入居者のお好みのネタを握ったり海苔で巻いたりし、賑やかなお寿司パーティーを行いました。ねぎとろやエビ、玉子等たくさんネタを準備し、入居者も何を食べようか目を光らせて選んでいます。一人ひとりオリジナルのお寿司を食べて「美味しい



！、「いい腕前！」と喜ばれ、楽しい時間を過ごすことができました。

バンテリンドーム野球団体観戦

毎年恒例のバンテリンドーム団体観戦は、今年も多く職員と職員の子どもたちが参加して盛り上がりました。今年は3塁側の内野席からの観戦で、阪神ファンに囲まれていました。試合は点の取り合いで応援にも熱が入ります。みんなビールを片手に阪神ファンにも負けず声を出して中日を応援するのでお酒も進みました。試合後にはグラウンド内を自由に散策できるグラウンドウォークイベントにも参加して貴重な体験をすることができ、野球とお酒を満喫できる1日となりました。



大相撲名古屋場所観戦



7月17日、大相撲名古屋場所の観戦に利用者と職員で参加しました。名古屋城東門から入ると太鼓の音が聞こえ、少し進むと色鮮やかな力士たちののぼりが見えてきます。非日常の風景に、今までに感じたことのないワクワク感。初めて見る生の力士に驚き、感激。マス席は心やすい職場の間と窮屈な空間、またそれがたまりません。時間が経つのもあっという間、本日最後の取り組みは横綱照ノ富士対御嶽海。立ち合い直後、御嶽海の押しにやや後退、その後素早く左上手を引くと寄り切りで勝利し、会場は大歓声。大相撲はテレビで観ても面白いですが、やっぱり実際見に行くと現地観戦の虜になりそうです。



第14回オールジャパンケアコンテスト

8月6日、東京で開催された第14回オールジャパンケアコンテストに福寿園から4名の職員が参加しました。各部門に分かれ、1人10分で設定課題についての支援を実施。食事分野A部門では、田原福寿園（南館）の木村志帆さんがみごとと優秀賞を獲得しました。いつもと違う緊張感の中での実技発表は日頃の100%



%が出せず、少し悔しい部分もありましたが、他の参加者の実技を見たり、話をしたりすることで、自分の中になかった考えを学ぶこともでき、とても貴重な経験となりました。

パート職員フォローアップ研修会

福寿園では従来から採用時のパート職員基礎研修会を実施してきましたが、今年度より経験年数に応じた段階的な研修制度を新たに導入することになりました。その一環として、8月28日に豊田地区、29日に東三河地区および知多地区で、パート職員フォローアップ研修会が開催されました。



この研修会の対象は、採用後3～5年等のパート職員等で、午前中には「福寿園のことmore」というテーマで、福寿園の現状や今度の方向性について講義があり、続いて「対人コミュニケーション」に関する講義が行われました。午後には「グローバル人材と一緒に働く」と題した講義と、「チームワークを大切にしよう」という事例検討演習が実施されました。この研修を通じて、かかわるすべての人の幸せづくり、生産性向上など、最近の福祉を取り巻く状況について理解を深めました。また、利用者や職員の多様性や価値観をお互いに理解することの大切さを学びました。

とよたSDGsポイント加盟店登録

ひまわり邸

「とよたSDGsポイント」
登録はカンタン!今すぐ貯めてみよう!

お得に貯めて、地元で使える!

「とよたSDGsポイント」は、身近な生活の中で「SDGs(エスディーゼーズ)」につながる行動をしていく方に発行しているポイントです。ポイント加盟店や自店の店舗等で気軽に貯めることができます。貯めたポイントは、地元の加盟店で使うことができます。

とよたSDGsポイントアプリの登録はこちら▶▶▶

※登録後すぐに使えます。

豊田市には「とよたSDGsポイント」というものがあり、SDGsを身近に感じてもらい、地域活性化につながる活動になります。取り組みをした方にポイントを付与し、取得したポイントは加盟店で利用することができます。先日、「カフェ向日葵」も加盟店に登録させていただきました。当店では注文した食事を食べきった方に、5ポイント付与いたします。食事を楽しみながら、SDGsの活動を一緒に取り組んでいきましょう。



たっぴくこどもキャンプ2024

田原福祉グローバル専門学校

7月15日、成章高校のボランティアなど多くのご協力をもらい、田原市の小学3年生以上の児童を対象に「たっぴくこどもキャンプ」を開催しました。今年もたくさんの申し込みをいただき、総勢100名を超える児童が来てくれました。

謎解きや様々な体験などを通して、「人」を大切に作る気持ちを少しでも学んでもらえていたら嬉しいです。Mr.Xもたくさんの児童にお宝を見つけれられて、悔しそうにしていた反面、嬉しそうにもしていました。

来年も多くの児童に楽しんでもらえるようにアップグレードして、皆さんの参加をお待ちしております。



英会話教室紹介

たっぴく児童クラブ



金曜日の習い事は、英会話教室が行われています。1～2年生には、日本人講師によるゲームや歌などを通して英語と触れ合い、楽しむことを目的として、基礎的な英語を教えてください。3年生以上は、外国人講師を中心に、英会話の簡単な基礎を楽しみながら学習していきます。講師のネイティブな英語に触れることによって、正確な発音を身につけていきます。また、英語や海外に興味を持つきっかけにもなるはず。体験、見学をご希望される方は、お声掛けください。

7月20日に、夏祭りに向けて家族会27名の会員が参加され、施設内外の環境美化活動を行いました。猛暑の中でしたが、ご家族同士や職員と楽しく会話もしながら作業を行っていただき、とても綺麗になりました。



渥美福寿園 環境美化活動

各施設で家族会や家族親睦会の総会が行われました。

家族会だより

また、7月27日の夏祭りにつきましても、会員の皆さんのおかげで賑やかに行うことができました。ご協力いただきありがとうございます。

花の里 家族会草取り

7月20日に花壇の草取りを行いました。花宵まつり前ということもあり、総勢22名の方に来ていただき、炎天下の中作業を行いました。作業後はレストランに集まり、コーヒーを飲みながら懇親会を行いました。ご協力いただきありがとうございました。



福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.13

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在105名(フィリピン人 64名、ベトナム人 32名、インドネシア人 9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎月一人ずつ紹介します。

Q 日本に来ようと思ったのはなぜですか？

A 日本は先進国であり、医療分野で多くの雇用の機会があります。また、テレビでみる様々な観光地をみたり、本格的な日本料理を食べてみたかったからです。

Q 日本で働いてみて、どうですか？

A 言葉の壁にぶつかることもありますが、専門学校で学んだ知識と技術を生かし、利用者との介助とコミュニケーションが取れた時はとても楽しいです。

Q 好きな日本語はなんですか？

A 「一期一会」です。

Q 日本人におすすめのフィリピンのことを教えてください。

A パラワン島は素敵なビーチがあり、砂がとても白くおすすめです。澄んだ水域でのダイビングなどを楽しめます。

Q 休日はなにをしていますか？

A 息子と一緒に公園に行ったり、日本国内の旅行をしたりしています。日本と韓国のドラマも楽しんでいます。

Q 日本で一番心に残る思い出は何ですか？

A 初めての雪体験が一番心に残っています。手に雪が積もったときは本当に感動しました。寒くて凍えてしまいましたが、雪だるまを作るととても楽しかったです。

Q これからの夢は何ですか？

A 医療や介護のスキルを向上させ、日本語を流暢に話せるようになります。



フローレス
マイリン ゴメス
ニックネーム
マイリン
みなみ福寿園
国籍:フィリピン



連載 施設長・管理者の リレーコラム

特別養護老人ホーム
武豊福寿園

施設長 金沢孝一郎

7月末の熱い中、息子と二人で常滑りんくう護岸にてサビキ釣りでアジ狙い。豆アジは終わり少し型の良いアジを狙っていざ開始！開始時はまだ魚が寄ってこず、何度もエサを入れ変え投入。息子はまだアメエビの見た目と匂いが嫌いなようで、私は主にエサのセッティング、釣れた魚を外す、また、根がかり処理をするという役目がほとんどでした。爆釣ではありませんでしたが、短時間でたくさんのアジが釣れ、ほかにも小さなカサゴやサッパはリリースしてきました。晩御飯のおかずにお酒のお供に美味しくいただきました。次はキスを狙いに投げ釣りを予定しています。

次号は、ちた福寿園の川島管理者者にバトンを渡します。



第6回 福祉の心を はぐくむ集い

入場無料
予約不要

どなたでも
入場できます

令和6年 11月4日 月祝

午後1時30分～午後4時(会場:午後1時)

田原文化会館文化ホール

(愛知県田原市田原町汐見5番地)

01

オープニングアクト 午後1時30分～
成章高等学校吹奏楽部

02

表彰式、優秀作品発表

田原市内の小中学生を対象に、福祉に関する絵手紙と作文を募集し、たくさんの応募をいただきました。

第20回「福祉の心」絵手紙(小学生の部)

第7回「福祉の心」作文(中学生の部)

03

福祉講演会 午後3時～



「誰ひとり取り残さない居場所を創る」

株式会社ネットアーツ 代表取締役
株式会社ココトモファーム 代表取締役

講師: 齋藤 秀一 氏



「発達障害でIT社長の僕」
(幻冬舎メディアコンサルティング)

主催 | 社会福祉法人 福寿園 ♡ 福寿園をはぐくむ会「未来」
後援 | 田原市、田原市議会、田原市教育委員会、田原市社会福祉協議会

くすのきの里

10月
27日(日)
10:30～14:45

第3回 くすのきフェス
● 日本福祉大学付属高校 太鼓部「楽鼓」演奏
● 福祉の心絵手紙表彰
● 飲食ハザ、ゲームコーナー、餅投げ



安倍里律子 歌謡ショー

みなみ福寿園・ケアハウスみなみ

10月
20日(日)
11:00～15:30

みなみフェスタ2024
● 福祉の心絵手紙表彰
● 飲食ハザ、餅投げ



黒木じゅん 歌謡ショー

秋のフェスタ

開催予告

各施設とも、入場は無料です。
お誘い合わせのうえ、ご来場ください。
みなさんのお越しをお待ちしております。



令和6年9月10日発行

発行/社会福祉法人 福寿園
理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.177 16